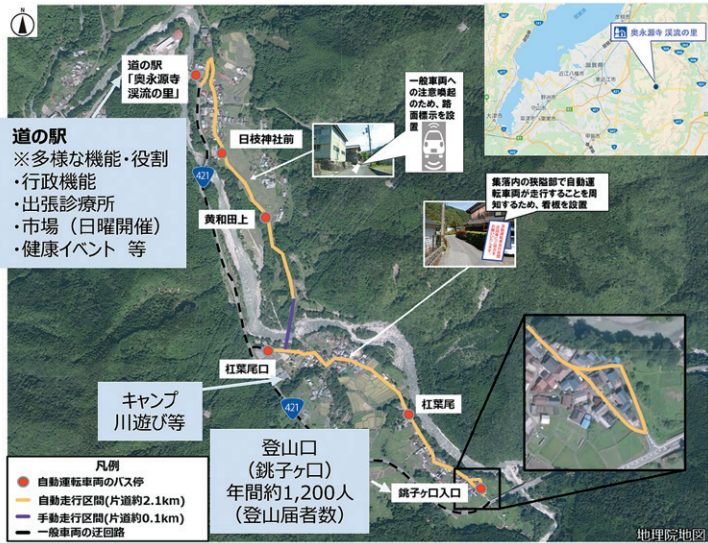


道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービススタート

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため、「道の駅」等を拠点として自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全23日（金）より道の駅「奥永源寺溪流の里」においてスタートした。

本サービスについては、地域の意見や運行時期の特性等踏まえながら、運行計画等随時見直しつつ、よりよいサービスを目指していくとしている。

【概要】
①サービス開始日
令和3年4月23日（金）
（運行頻度は週4日（水・金・土・日）※GW・年末年始等は、道の駅営業日を踏まえ実施）
②走行ルート
道の駅「奥永源寺溪流の里」～黄和町～紅葉尾町（全長（往復）約4.4km）
③運賃・運送料
運賃・150円/回（定期券、回数券も販売予定）
運送料・100円/回
④運営主体
東近江市都市整備部
公共交通政策課
※運行管理は交通安全者に委託。



走行ルート

平成28年4月4日に新宿駅で「バスタ新宿」が高速バス等のターミナルとして開業し、5年目を迎えている。新宿駅前を通れば、「バスタ新宿」からバス利用者が出てくる風景が当たり前になっており、利用者以外にも確実に認知されてきていると感じる。

ところで、国土交通省では、「高速道路ネットワークの進展により、高速バスは広域公共交通として中距離輸送の基幹となるものであり、あり方や仕組みの検討も含めて積極的な取組が必要」（平成29年8月22日社会資本整備審議会道路分科会建議とされている）等を踏まえ、

集約型公共交通ターミナルの整備等により交通拠点の機能強化を図る「バスタプロジェクト」を推進している。そこで、本プロジェクトの全展開に向けて、「バスタプロジェクト推進検討会」（座長・羽藤英二東京大学大学院教授）を令和2年9月に設置し、バスタプロジェクトの推進に向けた交通拠点の機能強化に関する計画を検討する際の留意点等について、国土交通省において進めてきたが、今般、その内容等が「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン」として取りまとめら

バスタプロジェクトの全国展開について

インターネットのツールマネジメントを行うものとして、国土強靱化や地方創生などの観点を加えつつ、交通拠点を中心とした未来志向のまちづくりを目指す取組として位置づけられている。現在、バスタプロジェクトは、既に品川駅西口、新潟駅、神戸三宮駅

れた。本ガイドラインでは、バスタプロジェクトを次世代モビリティも目撃した集約型公共交通ターミナルを官民連携により整備し、モビリティ



使用車両

名古屋第二環状自動車道 名古屋西JCT～飛鳥JCT

～名古屋第二環状自動車道全線開通～



国土交通省とNEXCO中日本が整備を進めてきた、名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛鳥JCT）が令和3年5月1日（土）に開通した。

【開通区間】
名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛鳥JCT）／延長12.2km
【開通による整備効果】
◇名古屋市の経済効果
名古屋第二環状自動車道は、名古屋市の北西部、中川区、守山区、緑区、名東区、天白区、春日井市、東海市、大府市、清須市、名古屋港飛鳥ふ頭のコンテナターミナル整備により、名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛鳥JCT）の整備により、所要時間が短縮され、小牧市・飛鳥ふ頭の物流の回数が増加（1日2往復→3往復）と物流が効率化される。

名古屋第二環状自動車道は、名古屋市の北西部、中川区、守山区、緑区、名東区、天白区、春日井市、東海市、大府市、清須市、名古屋港飛鳥ふ頭のコンテナターミナル整備により、名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛鳥JCT）の整備により、所要時間が短縮され、小牧市・飛鳥ふ頭の物流の回数が増加（1日2往復→3往復）と物流が効率化される。

り、海外向けのコンテナ貨物取扱量は、約20年で3倍に増加した。また、飛鳥ふ頭取扱コンテナの約4割が小牧・岐阜方面へ輸送される。

名古屋第二環状自動車道は、名古屋市の北西部、中川区、守山区、緑区、名東区、天白区、春日井市、東海市、大府市、清須市、名古屋港飛鳥ふ頭のコンテナターミナル整備により、名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛鳥JCT）の整備により、所要時間が短縮され、小牧市・飛鳥ふ頭の物流の回数が増加（1日2往復→3往復）と物流が効率化される。

2021年4月28日(水)～5月5日(水)：8日間

ゴールデンウィーク期間中の交通状況(速報)

※比較対象は一昨年の2019年4月26日(金)～5月6日(月)：11日間

高速道路各社はゴールデンウィーク期間中の高速道路・国道の交通状況の速報値を発表した。ゴールデンウィーク期間の交通量は、一昨年と比べ57%に減少した。また、10km以上の渋滞回数は92回で、一昨年と比べ17%に減少した。

交通量 全国の高速度道路の主な区間

	令和3年実績①	平成31（令和元）年実績②	対比①／②
平均日交通量	28,900台／日	50,600台／日	57%
(小型車) (大型車)	22,600 6,300	43,800 6,800	52% 93%
最大日交通量	34,300台／日	60,500台／日	57%

混雑状況 渋滞回数

	令和3年実績①	平成31（令和元）年実績②	対比①／②
10km以上の渋滞	92回	557回	17%
うち30km以上の渋滞	6回	51回	12%

《特に長い渋滞発生箇所（各社の上下別ワースト1位）》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時(ピーク)	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	関越自動車道	高坂SA付近	5月2日(日) 9時30分頃	30.9km	交通集中及び事故
	上り線	関越自動車道	川越IC付近	5月4日(火) 18時20分頃	41.1km	交通集中
中日本	下り線	中央自動車道	藤野PA付近	5月2日(日) 10時55分頃	39.5km	事故及び交通集中
	上り線	中央自動車道	小仏TN付近	5月4日(火) 18時45分頃	31.4km	故障車及び交通集中
		東名高速道路	中井PA付近	5月4日(火) 19時05分頃	31.4km	事故及び交通集中
	下り線	湯浅御坊道路	川辺第1TN付近	5月3日(月) 12時50分頃	18.2km	交通集中
西日本・本四	上り線	湯浅御坊道路	有田南IC付近	5月4日(火) 17時00分頃	19.7km	交通集中

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

- ◇日本海東北自動車道 各日20:00～翌朝6:00
新潟空港IC～聖籠新発田IC 6月7日(月)～11日(金)
聖籠新発田IC～荒川川内IC 6月21日(月)～25日(金)
- ◇常磐自動車道 各日20:00～翌朝5:00
広野IC～常磐富岡IC 6月7日(月)～11日(金)
常磐富岡IC～南相馬IC 6月17日(木)～23日(水)
南相馬IC～新地IC 7月5日(月)～16日(金)
- ◇中部横断自動車道 各日20:00～翌朝6:00
六郷IC～増穂IC 6月7日(月)～6月9日(水)
新清水JCT～富沢IC 6月14日(月)～6月18日(金)

【工事規制】

- ◇東名阪自動車道 名古屋西IC～亀山IC
5月24日(月) 0:00～6月12日(土) 6:00
- ◇阪神高速5号湾岸線(大阪方面) 中島本線料金所
5月14日(金) 9:00～令和4年春頃
- ◇長崎バイパス 川平IC～昭和町
5月26日(水)～5月28日(金) 各日21:00～翌朝6:00
- ◇長崎自動車道 長崎多良見IC～長崎IC
5月31日(月)～6月23日(水) 各日21:00～翌朝6:00